



『ミニノートパソコン 満足度調査』 「Aspire oneシリーズ」が満足度トップ

株式会社アスキー・メディアワークス(本社:東京都新宿区 代表取締役社長:高野 潔)のリサーチ・メディア部門である「アスキー総合研究所」は、『ミニノートパソコン ユーザー満足度調査』を実施し、調査結果をまとめましたのでお知らせします。

製品を実際に使用した際、その使用感が期待どおりだったときの「満足感」、あるいは期待以下だったときの「がっかり感」について、詳細なアンケートを実施いたしました。今回調査した「ミニノートパソコン」(画面サイズ10.4型以下)の多くは小型・軽量で、モバイルでの利用に特化しています。『Eee PC』をはじめとする超低価格ノートが登場したことで、パソコンの中でもいま最も注目されているクラスになります。

【1】総合満足度は日本エイサーの「Aspire oneシリーズ」がトップ

シリーズ別総合満足度トップ5ランキング

順位	シリーズ名	メーカー名	総合満足度 (購入後)
1	Aspire oneシリーズ	日本エイサー	55.5ポイント
2	Let'snote Rシリーズ	パナソニック	46.0ポイント
3	Eee PCシリーズ	ASUSTeK	45.5ポイント
4	FMV-BIBLO LOOX Uシリーズ	富士通	27.5ポイント
4	KOHJINSHAシリーズ	工人舎	27.5ポイント

首位は日本エイサーの「Aspire one」シリーズ。価格5万円台というコストパフォーマンスはもちろん、先に発売された他の低価格ノートに比べて洗練されたデザインやカラーリングの評価が高かった。

【2】携帯性・バッテリー駆動時間の満足度ではLet'snote Rが首位

本体サイズや重量、筐体の堅牢性を含む携帯性において、およびバッテリー駆動時間に関しては、Let'snote Rが他機種を上回る高い満足度を得た。

【3】ミニノートでも、ストレージは大容量が望まれる

メールやウェブには、Eee PCのように16GBのストレージ(SSD)で十分とも言えるが、ユーザーからはより大きなストレージ容量への要望が多かった。このことが、160GBのHDDを搭載するAspire oneの満足度がEee PCを上回った要因のひとつとなっている。

【報道関係のお問い合わせ】

株式会社アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所 (TEL:03-6866-7338)

なお、本リリースに掲載しておりますデータを記事にて引用される場合は、「アスキー総研調べ」と出典を明記していただきますようお願いいたします。

『モバイルノートパソコン ユーザー満足度調査』

株式会社アスキー・メディアワークス
アスキー総合研究所

調査概要

- (1) 調査期間：2008年11月10日(月)～11月17日(月)
- (2) 調査方法：Webアンケート
- (3) 調査対象：アスキー総研アンケートモニター
(週刊アスキー、アスキー・ドットPC、ビジネスアスキー、マックピープル各誌読者など)
- (4) 有効サンプル数：1585件
- (5) 対象ノートパソコン：Windows搭載のミニノートパソコン(画面サイズ10.4型以下)
- (6) 満足度とは：アンケートでは、各製品の個別の機能および製品全体について、購入決定時と購入後それぞれの評価を「とても良い」「良い」「ふつう」「悪い」「とても悪い」で表してもらい、順に100ポイント、50ポイント、0ポイント、マイナス50ポイント、マイナス100ポイントと数値化して集計した。また、購入後の全体的な満足度をその製品の総合満足度とした。

メーカー別総合満足度(各シリーズの総合満足度をメーカー別に集計)

首位は日本エイサー、2位パナソニックと3位ASUSが追走

総合満足度トップ5メーカー別ランキング

順位	メーカー名	満足度(購入後)
1	日本エイサー	55.5ポイント
2	パナソニック	46.0ポイント
3	ASUSTeK	45.5ポイント
4	富士通	28.5ポイント
5	工人舎	27.5ポイント

メーカーごとのランキングは、ほぼシリーズごとのランキングに等しい結果となった。富士通のみ、上位5シリーズにランクインした『FMV-BIBLO LOOX U』以外にも、すでに生産が終了している『FMV-BIBLO LOOX T』を評価するユーザーもあって、やや満足度が伸びている。

項目別満足度(総合満足度上位5シリーズの、主要な項目別の購入後満足度ランキング)

デザイン

順位	メーカー名	シリーズ名	満足度(購入後)
1	日本エイサー	Aspire oneシリーズ	59.8ポイント
2	パナソニック	Let'snote Rシリーズ	45.8ポイント
2	ASUSTeK	Eee PCシリーズ	41.8ポイント
4	工人舎	KOHJINSHAシリーズ	30.0ポイント
5	富士通	FMV-BIBLO LOOX Uシリーズ	24.0ポイント

携帯性(サイズ、重量など)

順位	メーカー名	シリーズ名	満足度(購入後)
1	パナソニック	Let'snote Rシリーズ	58.3ポイント
2	ASUSTeK	Eee PCシリーズ	53.8ポイント
3	富士通	FMV-BIBLO LOOX Uシリーズ	52.0ポイント
4	工人舎	KOHJINSHAシリーズ	36.7ポイント
5	日本エイサー	Aspire oneシリーズ	30.7ポイント

高級感のあるカラーリング、またスタイリッシュな筐体デザインで、Aspire oneがLet'snote RやEee PCを上回る高い評価を得た。

重量930gと、1kgを切るLet'snote Rがトップで、それにEee PC、LOOX Uが僅差で続く。Eee PC 901より幅の若干大きいAspire oneは、やや厳しい評価となった。

バッテリー駆動時間

順位	メーカー名	シリーズ名	満足度 (購入後)
1	パナソニック	Let'snote R シリーズ	50.0 ポイント
2	ASUSTeK	Eee PC シリーズ	41.0 ポイント
3	富士通	FMV-BIBLO LOOX Uシリーズ	13.5 ポイント
4	工人舎	KOHJINSHA シリーズ	-10.0 ポイント
5	日本エイサー	Aspire one シリーズ	-23.5 ポイント

カタログ値で約8時間駆動のLet'snote R、約8.3時間 (Eee PC 901) のEee PCが上位。Aspire one(約3時間)ユーザーは、より長い駆動時間を求めている。

コストパフォーマンス

順位	メーカー名	シリーズ名	満足度 (購入後)
1	日本エイサー	Aspire one シリーズ	61.0 ポイント
2	ASUSTeK	Eee PC シリーズ	56.0 ポイント
3	パナソニック	Let'snote R シリーズ	13.0 ポイント
4	富士通	FMV-BIBLO LOOX Uシリーズ	4.5 ポイント
4	工人舎	KOHJINSHA シリーズ	4.5 ポイント

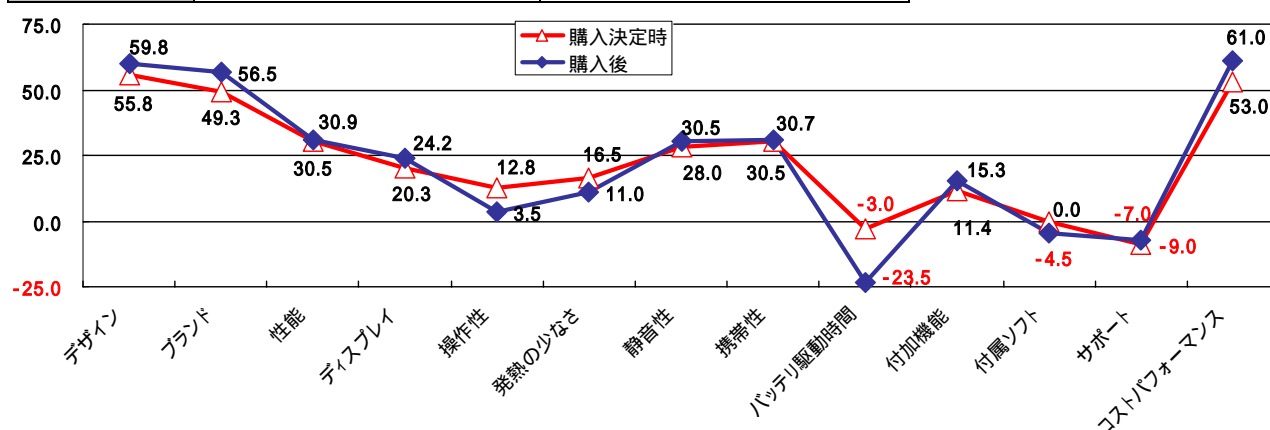
今回の満足度上位5シリーズの中では、実売価格で5万円台のAspire oneとEee PCがコストパフォーマンスで高い評価を得た。

各シリーズの詳細な満足度

[1位] 日本エイサー「Aspire oneシリーズ」

高満足度の要因はデザインとコストパフォーマンス

総合満足度	55.5ポイント (購入後)	50.0ポイント(購入決定時)
--------------	-----------------------	-----------------

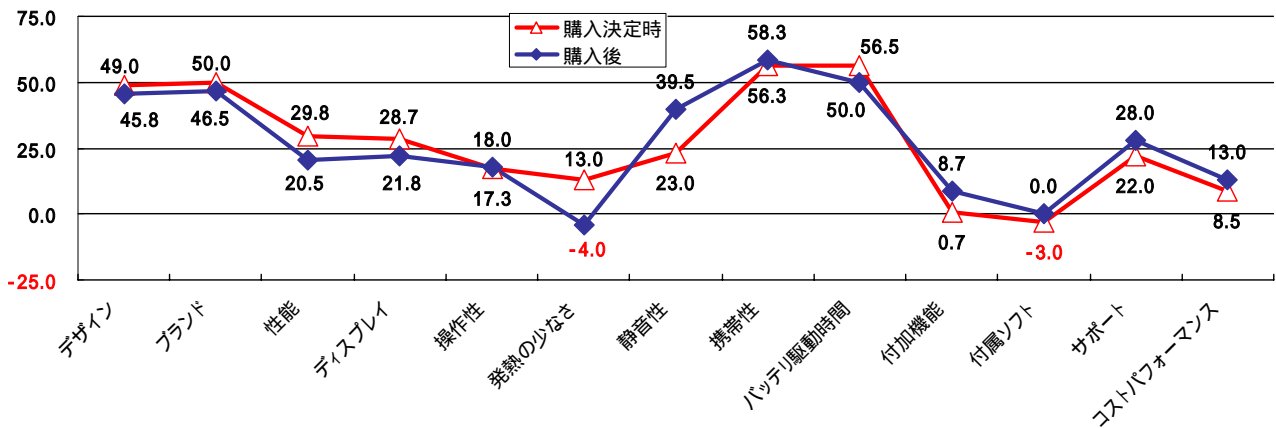


国内では2008年8月の発売からまだ3カ月だが、デザイン面とコストパフォーマンスの評価が高く、トップとなった。今回の上位5シリーズ中で唯一、購入決定時より購入後の総合満足度が上昇している。「小さく、軽くて持ち運びやすい。スペックもそれなりに良く、多少の作業にも困らない」(19歳男性)、「キーボードのタッチ、画面の見やすさ、HDD容量の多さに満足」(33歳男性)など、ユーザーは性能面にも十分満足している。ただし、「バッテリーの持ちが悪い。カタログスペックは3時間だが、実際には1時間程度しか持たない」(52歳男性)と、バッテリー駆動時間はやや厳しい評価。なお、「製品のサイズに比べて、ACアダプタのケーブルが大げさ」(46歳男性)、「ACアダプタのケーブルがデスクトップ用かと思うほど太い」(41歳男性)というコメントもあった。

[2位] パナソニック「Let'snote Rシリーズ」

携帯性・バッテリー駆動時間で他機種を大きく凌駕

総合満足度	46.0ポイント(購入後)	56.5ポイント(購入決定時)
-------	---------------	-----------------

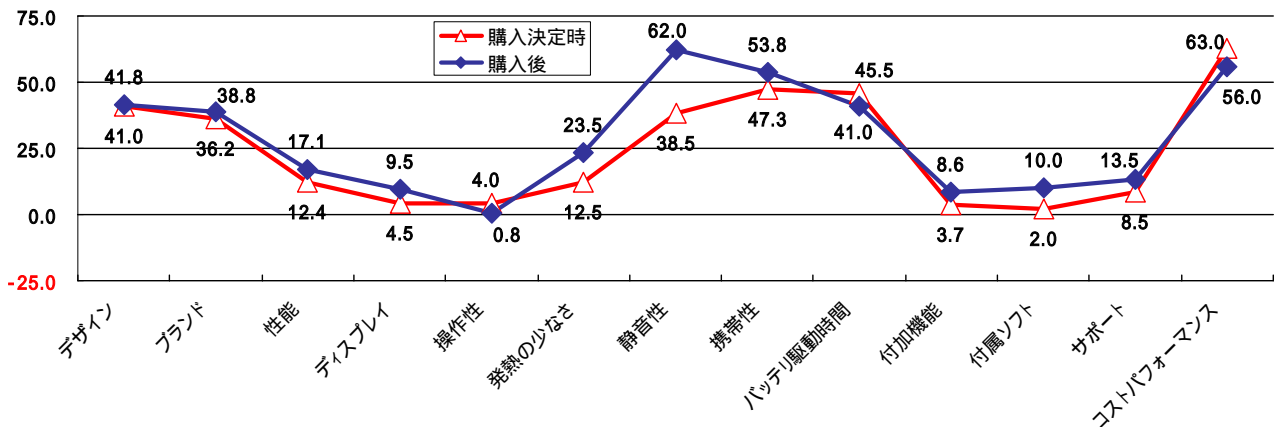


携帯性とバッテリー駆動時間において、今回の上位5シリーズ中トップ。静音性の満足度も、購入決定時に比べて大きく伸びているが、一方で「熱くなりやすいため、膝の上に置くのはちょっと厳しい」(25歳男性)と、発熱をユーザーはやや気にしている。購入者の45.8%はLet'snote Rを指名買いし、購入時に他機種と比較検討する際にも、その対象は大半が他のLet'snoteシリーズで、似たような画面サイズでもEee PCやAspire oneといった低価格ノートとは別のカテゴリに属する製品だと認識されている。

[3位] ASUSTeK「Eee PCシリーズ」

低価格ミニノートの先駆けは、性能面でも高評価

総合満足度	45.5ポイント(購入後)	56.0ポイント(購入決定時)
-------	---------------	-----------------

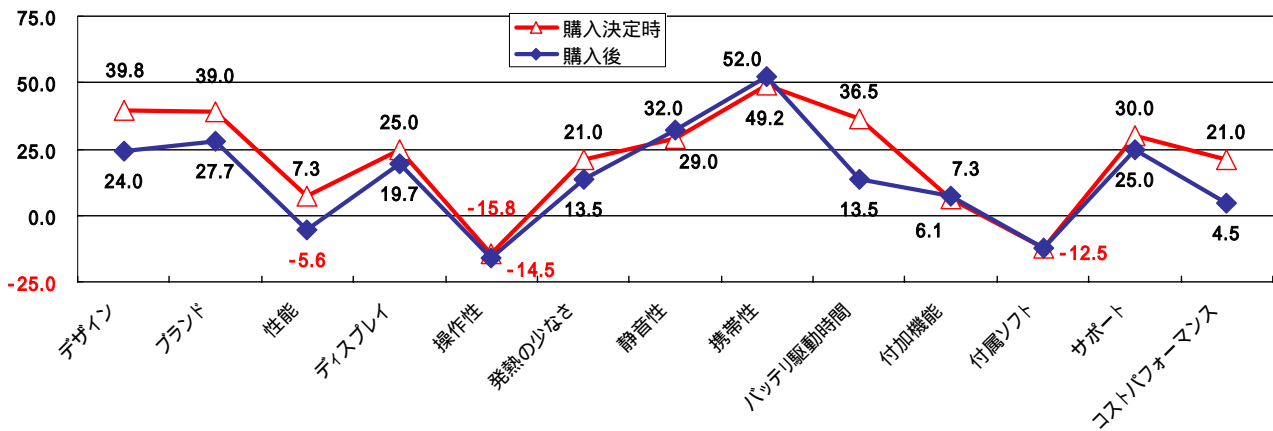


5万円台のミニノートパソコンのブームに先鞭を付けた製品で、コストパフォーマンスに高い評価。また、バッテリー駆動時間や携帯性、HDDではなくSSDを採用したことによる静音性などでも、高い満足度を得た。「ほぼ毎日、どこへ行くにも携帯するほど気に入っている」(39歳男性)、「キーボードも、慣れれば普通のノートパソコンと同じぐらいのタイピング速度で利用できる」(21歳男性)と、Eee PCのコンセプトはユーザーのニーズに十分マッチしている。ただし、内蔵するSSDの容量(『Eee PC S101』で16GB)については、「少なすぎる」(37歳男性)、「SSDの容量をどうにかしたい」(36歳男性)というコメントが多かった。

[4位] 富士通「FMV-BIBLO LOOX Uシリーズ」

5.6型、565gという極小サイズで携帯性が高評価

総合満足度	27.5ポイント (購入後)	41.5ポイント (購入決定時)
--------------	-----------------------	-------------------------

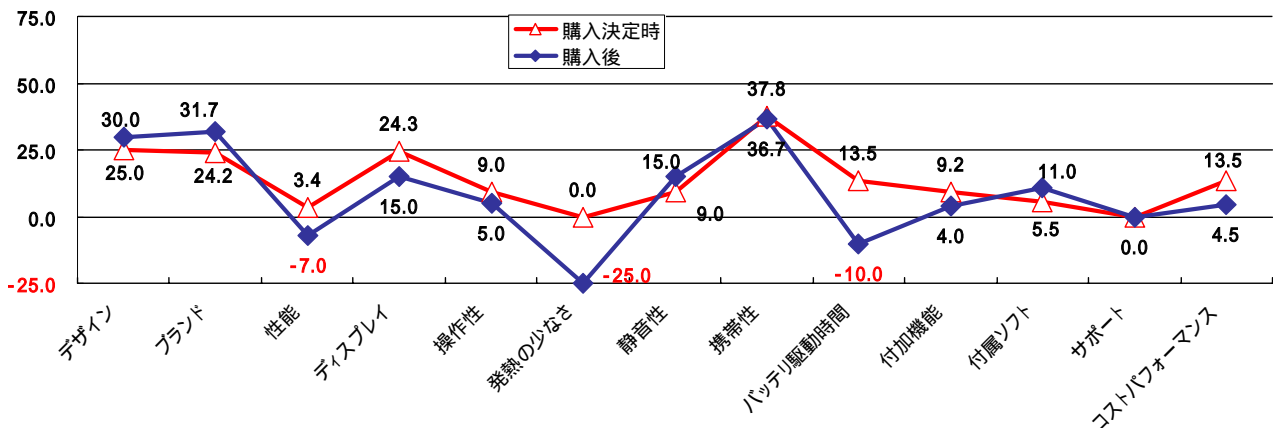


画面サイズ5.6型、重量約565gという小ささから携帯性への評価が高いほか、1280×800ドットという高精細な表示が可能なディスプレイもますますの満足度だった。購入時の比較・検討対象に、ソニーの『VAIO type U₂』が入るなど、これもEee PCなどとは異なるジャンルの製品だと認識されている。キーボードのサイズや、バッテリー駆動時間がカタログ値(カタログ値で約5時間から)ほど伸びない点を指摘しつつも、ユーザーは「割り切って使っている」(42歳男性)。ただし、「ワンセグの受信感度が悪い」(39歳男性)という意見もあった。

[4位] 工人舎「KOHJINSHA SA/SH/SC/SXシリーズ」

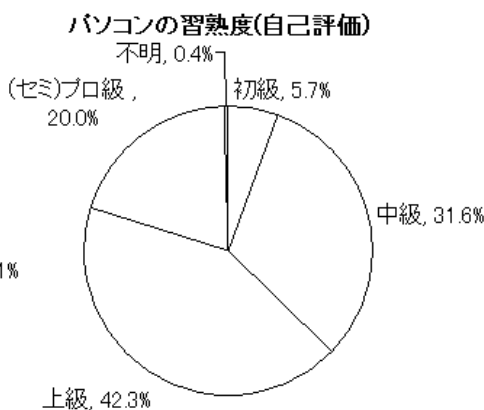
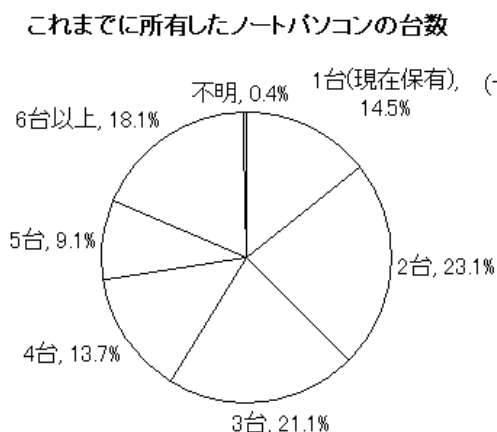
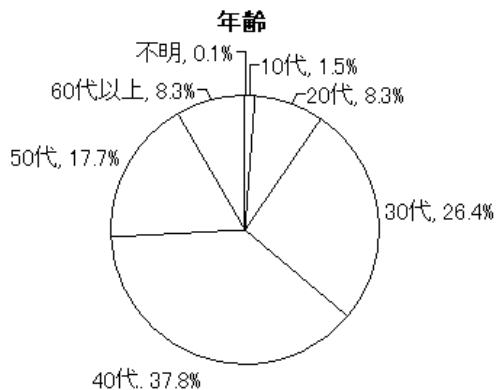
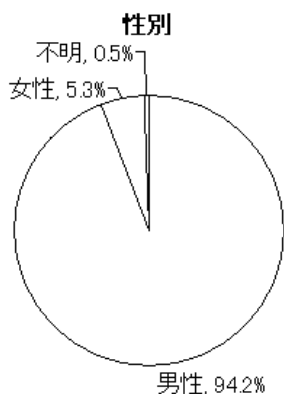
デザインや携帯性に、ユーザーは十分満足

総合満足度	27.5ポイント (購入後)	36.5ポイント (購入決定時)
--------------	-----------------------	-------------------------

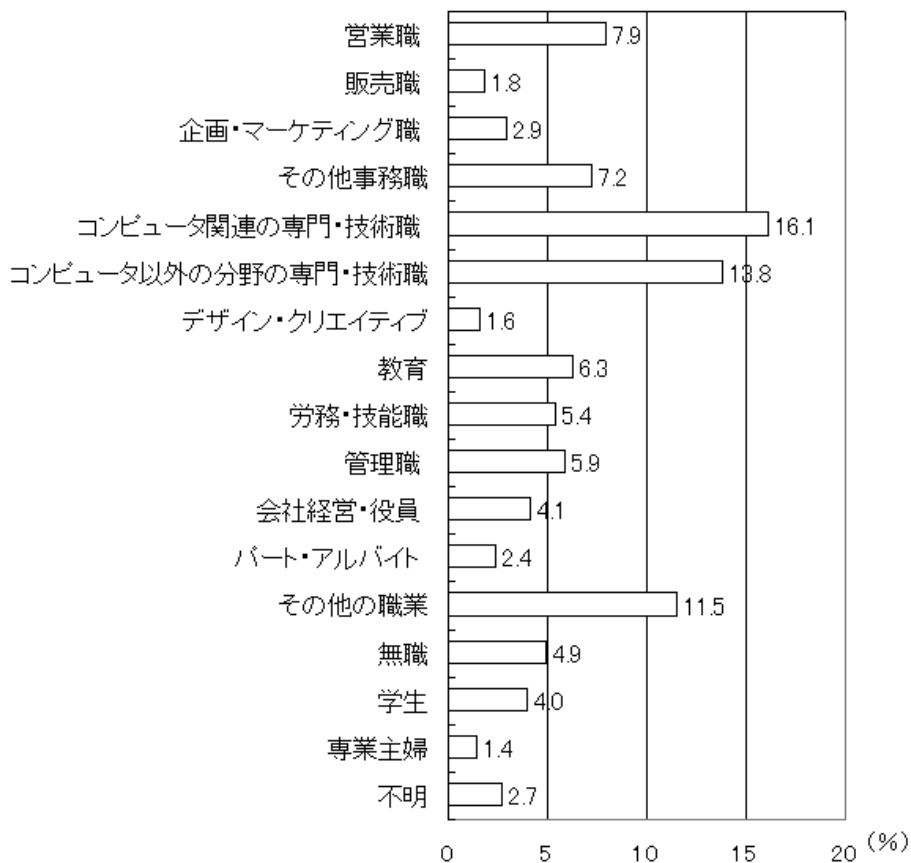


ミニノートに特化した製品を展開する工人舎は、画面サイズ7型で価格が5万9800円の『KOHJINSHA SA』シリーズや、同じく7型でワンセグ内蔵の『KOHJINSHA SH』シリーズなど、複数のラインナップがあるが、今回は全体での満足度を集計した。携帯性への評価が高いほか、デザインやブランドについては、購入後で評価が上昇している。「標準バッテリーの持ちがもう少しほしかった」(33歳男性)という指摘もあったが、「コンパクトで軽量なのに、ワンセグやGPSといった機能が豊富」(47歳男性)など、付加機能を評価する声もあった。

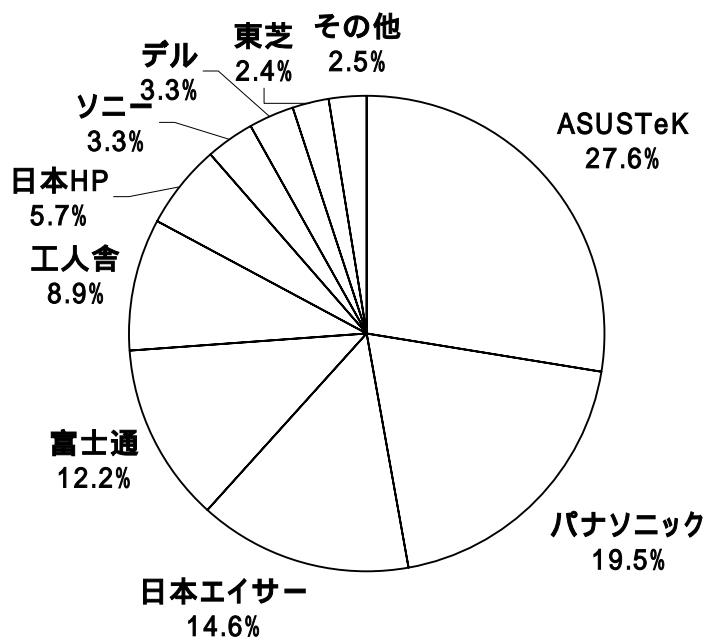
調査対象者プロフィール



職業



現在利用しているミニノートパソコンのメーカー別比率



【アスキー総合研究所】 URL:<http://research.ascii.jp/>

アスキー総合研究所は、株式会社アスキー・メディアワークスの法人向けリサーチ・メディア部門です。コンテンツ、カルチャー、およびWeb、PC、携帯電話などによるコミュニケーションを対象として、法人向けに調査・分析データの販売を行っています。

〒160-8326 東京都新宿区西新宿4-34-7 住友不動産西新宿ビル5号館
株式会社アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所 TEL:03-6866-7338

【株式会社アスキー・メディアワークス】 URL:<http://asciimw.jp/>

出版を基盤としながら、コンテンツをクロスメディア、映像までメディアを超えてプロデュースするコンテンツ・プロデュース・カンパニーです。『アスキー』『電撃』という2つのブランドを軸として、(Entertainment) (Business) (Culture) という3つの事業領域にコンテンツを発信しています。

2008年4月、株式会社アスキーと株式会社メディアワークスが合併いたしました。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社アスキー・メディアワークス
アスキー総合研究所 TEL:03-6866-7338